



栗山地域で最も雪の多い湯西川。杉の子会(子ども会)高花沢会(青年団)と湯西川上自治会合同でこの雪を利用して子ども達と何かの活動は出来ないかと考えたのが『ミニかまくら作り』です。ちっちゃなかまくらをたくさん作り、夕方、その中にろうそくを灯します。とても幻想的なかまくら達が誕生し、みんなで感動したそうです。



おとなも子どもも雪の中で、寒さも忘れて一緒になってちっちゃなかまくらをいくつも作りあげる。そしてみんなで感動する。それは、今、とても大切に必要なことなのではないでしょうか。大雪が降ってしまうと、かまくら達は、あとのたもなく雪にうもれてしまうので、そのかまくらひとつひとつの雪を(はらう)作業、何百回もあるかまくらの中のろうそくの交換作業は、とても根気が必要です。



そんな活動をもう4年も続けている高花沢会の皆様、上自治会の皆様そして子ども達に感動しました。